

平成 28 年度 法人第 10 期 事業報告書

特定非営利活動法人
せき・まちづくり NPO ぶうめらん

1. 事業実施の概略

特定非営利活動法人せき・まちづくり NPO ぶうめらんは、法人第 10 期となる今年度、フリーマガジン/高校フリーマガジンを含むメディア事業、関市市民活動センター運営受託、そして、近隣自治体へのまちづくりサポート事業を主に活動を行った。10 年間発行を続けたフリーマガジンは、来年度大幅な改定をするため、本年検討を重ねた。

2. 特定非営利活動に係る事業

(1) 関の魅力発掘・発信事業

① 関・再発見フリーマガジンぶうめらん発行事業

目的	関の魅力を関の人に知ってもらい、関を好きな人を増やす。
内容	ぶうめらん第53号～58号を発刊 【媒体概要】 版型：B5 中綴じ 編成：カラー・特色1色混合 20・24頁 部数：20,000部 刊行：隔月（6月、8月、10月、12月、2月、4月発行） 【コンセプト】 ・市民を巻き込む体験型フリーマガジン(魅力を体感できる仕組みづくり) ・単なるクーポンマガジンではない(広告は全体の4割以下で読んで楽しく) ・作り手が楽しむ、顔の見える雑誌
実績	【発信した魅力】 第53号：関の円空 第54号：関のカレー 第55号：関の御朱印帳 第56号：板取の暮らし 第57号：関の外国人観光客 第58号：関のお土産 【配布】 中日新聞販売店様が配布に協力

② 高校生向けフリーマガジン「高校生ぶうめらん」の創刊

目的	将来、このまちで働くことを高校生の選択肢に
内容	地域で働く人、企業をかつこ良く紹介する。また、関商工写真部が表紙の写真を担当、関高校文芸部の連載頁等、部活と連携した発表の場にする。今年度、2号から4号を発行した。

<p>■概要 4000部 B5版 16頁 季刊発行</p> <p>■武義高校、関有知高校、関 高校、関商工へ配布他、地域へ設置</p>

③ コミュニティブックカフェ『ブックエカ』

目的	本を通じたコミュニケーションがとれる場を作り出し、読書の充実により市民が自己実現、自己研鑽できる読書のまち関市を目指す
内容	<p>コミュニティブックカフェ「ブックエカ」を運営した</p> <p>営業時間：12時～20時</p> <p>定休日：日曜、祝日、月曜定休</p> <p>場所：ふうめらん事務所</p> <p>内容：</p> <p>■ 古本販売の実施</p> <p>■ 本棚プロデューサーについて</p> <p>本棚1棚の担当をお任せし、テーマを自由に決めて、そのテーマに合う本を並べて頂きます。本の追加や入れ替えなど自由に行なっていただき、魅力的な陳列をお願いする</p> <p>■ ブック基金の実施</p> <p>市内のPTA、NPOを対象に市民から本の寄付を募り、その本をブックエカが買取。その金額を対象団体へ寄付する取り組み。</p> <p>今年度は、旭ヶ丘小学校、田原小学校、桜ヶ丘小学校</p>

(2) 関のまちづくりに寄与する人材育成・コンサルティング事業

① 小規模多機能自治組織のコンサルティング事業

目的	この地域の小規模多機能自治を推進する
内容	<p>小学校区に一つの規模でまちづくりをする団体小規模多機能自治（関市では地域委員会、美濃加茂市ではまちづくり協議会）をサポートした。</p> <p>今年度は、美濃加茂市下米田地区のまちづくり協議会立ち上げサポート、中津川市苗木まちづくり協議会事業サポートを実施。</p>

② 企業向け CSV コンサルティング事業

目的	この地域の企業に CSV について理解してもらい、CSV に取り組む企業を増やす。
内容	<p>CSV(creating shared value)「共有価値の創造」。「社会に良いことをして、良い業績を残す」。地域の企業が、狙いたい顧客に共感してもらえ「地域課題」を設定し、市民を巻き込みながら、その課題解決をするための活動をした。</p> <p>今年度は、三輪塗装さんと連携し、企業価値を上げるための CSV 活動を実施した。</p> <p>○ 富岡自主防犯パトの会への支援</p> <p>○ 地域振興券「EKA!券」の発行支援</p> <p>○ 駄菓子屋チャブ応援プロジェクト</p>

③ 東海若手起業塾のコーディネーター

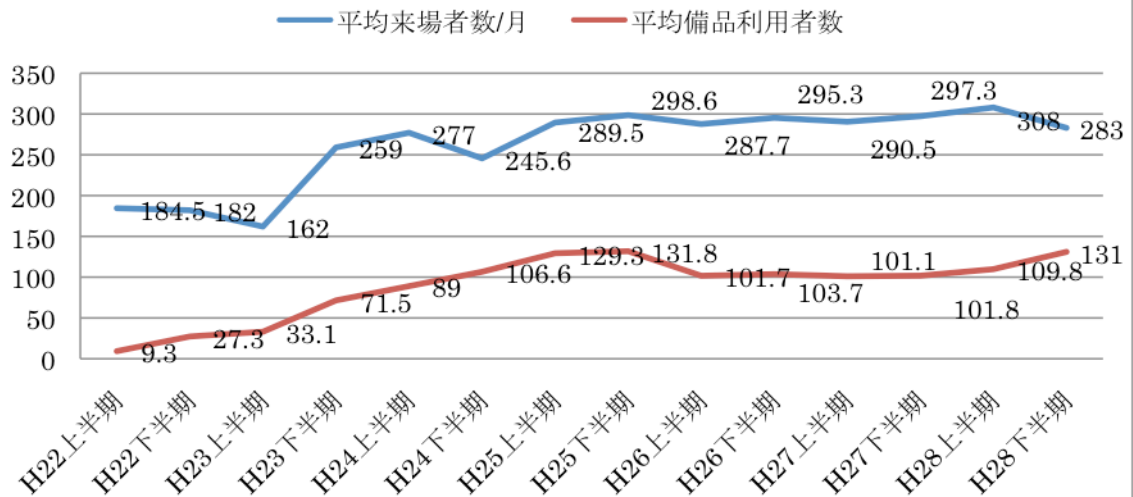
目的	この地域における成果のする社会的起業家を増やしていく
内容	ブラザー工業株式会社が協賛する「東海若手起業塾」にコーディネーターとして参加。 起業家のサポートした。

(3)関におけるまちづくり団体同士の連携推進をする事業

① 関市市民活動センター運営受託

目的	市民活動・地域活動のサポートによって市民の力を醸成することで、行政・企業・NPOの3つのセクターが協力したまちづくりの土壌の醸成をしていく。
内容	<p><運営方針4つの柱></p> <p>① 市民活動・ボランティアに対する、関市民へのすそ野を広げる</p> <p>② NPO法人だけではなく、自治会町内会等、地域活動もサポートし、地域型コミュニティ、テーマ型コミュニティが協働して地域社会の活性化を目指す</p> <p>③ 既存のボランティア活動支援との協働、行政・企業との協働支援</p> <p>④ センターへ人が集まる仕組みをつくる</p> <p>1. 市民活動にかかる情報の収集、提供に関する業務</p> <p>1) 関市内の市民活動団体の登録業務</p> <p>2) ホームページの充実</p> <p>3) 企業の市民活動応援団</p> <p>2. 相談業務</p> <p>3. 市民活動に係る調査研究及び普及啓発に関する業務</p> <p>1) 市民活動センター便りの発行</p> <p>2) 市民活動サロンの実施</p> <p>3) 自治会へのNPO普及活動</p> <p>4. 市民活動に係る人材育成、研修、交流に関する業務</p> <p>1) 市民活動の講座</p>
実績	【センター利用状況】

関市市民活動センター平均利用者



【センター登録団体】

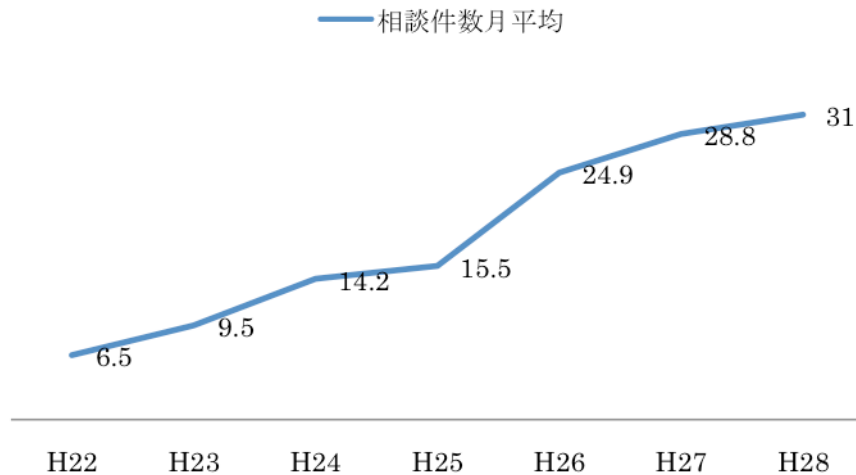
190 団体（5 月 31 日）現在

【HP アクセス件数】

月平均 15,767 アクセス

【相談件数】月平均 31 件

相談件数月平均



■週末プチイベントの開催

【地域団体サポート】

NPO 法人だけでなく、地域のまちづくり委員会等、地域の団体を積極的にサポートしていくことで、地域の課題は地域で解決するまちをつくる。

【まちづくり市民会議】

関市のまちづくり施策について、市民が自ら考える「関市まちづくり市民会議」を開催。
“日本一しあわせなまち、関市” を市民の手でつくるため、関市の現状を学びながら、課題を見つけ、その解決方法などを考える。